

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	外事事業			事業番号	008-020
担当部署名	文化観光	局	文化国際	部	国際課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(4) 文化芸術の振興・国際交流の強化
		寄与するKPI	有	取組の方向性	③姉妹・友好都市やアセアン諸国などの国際交流の強化		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—
		有・無	ゴール	ゴール(17)パートナーシップで目標を達成しよう	ターゲット	17.17	
		有	取組	外国公館・国際機関などの連携強化、ネットワーク構築			
		有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画	堺市国際化方針			
3	事業開始年度	平成 3 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	海外姉妹友好都市 (3市) や歴史的・文化的につながりのある大使館・在関西総領事館・国際機関等、国際交流に興味のある市民・市内企業 (約6千社) ・大学 (7校) 等、本市国際化を推進する事業に関わる市職員	対象数	—	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	外国人賓客等の接遇や海外に向けた本市のPR、諸外国との経済・観光等さまざまな分野での交流、外国公館や国際機関等との連携強化やネットワークを活用した国際交流の促進等、本市の国際化を推進する。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<ul style="list-style-type: none"> 外国人賓客への接遇及び本市への理解促進 海外都市等との交流、都市間連携及び本市PR 在京大使館・在関西総領事館等に対する本市の魅力発信や連携事業の実施、ネットワーク構築・強化等 一般財団法人自治体国際化協会堺市支部の運営 JICA等と連携した国際協力の推進 			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	一般財団法人自治体国際化協会			
10	公民連携・協働事業				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標 点検対象年度	
	外国公館等との連携事業数	件	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
			目標値	2	4	5	5
			実績値	3	6		
			達成率	150%	150%		
	当該指標を選定した理由	当該事業数が増加することで、外国公館等とのネットワークが構築され、国際交流の促進につながるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	外国公館等と共催等で実施した連携事業数について計上。過年度の実績から目標を設定。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標		
	外国公館ほか諸外国等に対する本市PR事業の実施	件	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			目標値	6	8	8	
			実績値	8	10		
			達成率	133%	125%		
	当該指標を選定した理由	当該事業の実施数が増加することで、国内外への本市PR及び都市魅力向上等につながるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	外国公館等に対して実施した市内視察やPRイベント等を計上。過年度の実績から目標を設定。					

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	外事事業	事業番号	008-020
-------	------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度	
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算	
事業費 (a)	12,196	12,573	13,179	21,626	16,966	
13 財源内訳	国支出金		0	0		
	府支出金		0	0		
	市債		0	0		
	その他（基金利息収入、指定寄付金、宝くじ収益金）	62	12,445	11,192	21,444	16,547
	受益者負担金(使用料、手数料等)			0		
	一般財源	12,134	128	1,987	182	419
14 人件費 (b)	12,310	13,130	11,530	11,530	16,345	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	24,506	25,703	24,709	33,156	33,311	

事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源
(一財)自治体国際化協会分担金	R4 決算	10,000	0	費用弁償（その他） 【翻訳、翻訳監修、通訳】	R4 決算	33	33
	R5 予算	11,000	0		R5 予算	41	41
自動車借上料 【外国公館等連携事業等】	R4 決算	0	0	印刷製本費 【堺っ子書道展等】	R4 決算	41	41
	R5 予算	106	106		R5 予算	39	39
普通旅費 【在京大使館とのネットワーク構築等】	R4 決算	65	65	その他報償費 【堺っ子書道展等】	R4 決算	12	12
	R5 予算	96	96		R5 予算	12	12
有料道路通行料 【外国人賓客への接遇・本市PR等】	R4 決算	0	0	会場等借上料 【外国公館等連携事業】	R4 決算	48	0
	R5 予算	5	5		R5 予算	195	0
その他使用料及び賃借料 【外国公館等連携事業等】	R4 決算	27	0	その他（消耗品費、積立金等）	R4 決算	11,400	31
	R5 予算	100	10		R5 予算	5,372	110

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
		17 ① 外国公館ほか諸外国等に対する本市PR事業の実施	件
② 上記①にかかる年間経費	千円	1,723	1,920
③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	215,375	192,000
備考（算出についての説明等）		PR事業に要した報償費や旅費、消耗品費等	

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 令和4年度においては、長引く新型コロナウイルス感染症の影響から、人の往來の制限は一定あったものの、徐々に緩和傾向がみられ、事業数が増加した。在堺チェコ共和国名誉領事館と協力して行ったチェコフェスティバル、在大阪・神戸インド総領事館と協力して行ったインド独立75周年及び日印国交樹立70周年を記念した各種事業については、外国公館との連携強化及び市民への国際交流機会を提供でき、効果的であったと考える。また、11月にはイタリア文化会館-大阪とともに、イタリア人アーティストによるマンドリンコンサートをフェニーチェ堺小ホールで開催し、外国公館との新たな連携の構築並びに市民に向けたイタリア文化の発信を行うことができた。

なお、「Ⅳ. 事業の効率性」の単位当たりの経費においては、前年度に比べ約11%減少している。これは、新型コロナウイルス感染症への対応が落ち着き始め、外国公館等の市内視察等による本市PR件数が増えたことによるものである。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 令和4年度は、イタリア文化会館-大阪や在堺チェコ共和国名誉領事館、在大阪・神戸インド総領事館と連携しつつ、「カルロ・アオンツォ公演『マンドリンの夕べ』」、「チェコフェスティバルin関西2022」、「インドDAY in 堺」、「インドの叡智（えいち）からの贈り物 舞踊・音楽・古式術の夕べ」等の外国公館等連携事業を実施することにより、イタリア文化やチェコ文化、インド文化に市民が触れる機会を提供した。

本市PR事業においては、在日外国公館等の市長表敬時に、市内視察（博物館や仁徳天皇陵古墳等）や各種本市PR資料を活用することで、本市が有する文化・歴史等資源の魅力発信に寄与できた。また、「堺市国際化方針」にて定められている「ヨーロッパ諸国の公館との結びつきを強化し交流を進めていく」という内容を受け、2月に在大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館を訪問するなど、今後の連携事業実施の可能性について調査を進めた。

以上のことから、本事業は、外国公館等との連携やネットワーク強化を通じて、本市の国際化推進に寄与していると評価できる。